

是非みなさんにお読み頂きたい記事

今月号は「平和」「ポリオ」というロータリーの今日的・二大課題で、ヨコ組の殆どが埋め尽くされています。詳しく読まなくとも、その大綱はロータリアンとして是非把握して置きたい課題です。

(平和)

「平和はロータリーの実現可能な目標です」 ヨコ組 P1

「GLOBAL OUTLOOK」平和への道 ヨコ組 P37～44

田中作次 RI 会長は、「奉仕を通じて平和を」を本年度のテーマに据え、その推進をことあるごとに提唱されました。そして世界平和フォーラムを企画し、いよいよその3回目を今月広島で開催します。会長メッセージでは、「平和は政府による協定や英雄的な取り組みによって実現できるものではなく、日常のささやかな行為の積み重ねの中から見だし、達成できるものです」と説いています。

このメッセージに呼応して、GLOBAL OUTLOOKでは「平和への道」を探り、国際平和カーネギー基金のアドバイスによる平和構築のあり方や平和フェロー、グローバル補助金のアプローチ方法も記載されています。

ロータリーの平和への考え方と全体の仕組みを知る良い機会です。

(ポリオ)

「運命 インドでポリオ撲滅に取り組む」 ヨコ組 P 5～ 9

「ポリオ（小児麻痺）の第二幕」 ヨコ組 P10～17

大々的に、日本のロータリアンがインドでのNID(全国予防接種日)に参加した活動写真集が載っています。ポリオ撲滅活動のトップリーダーである関場先生をはじめ、初めて参加して強烈な感動を覚え、この出会いを運命と感じたロータリアンまで、幾多の活動場面が見られます。インドでのポリオ撲滅をお祝いし、ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンでの最後の追い込みを図る今を全員で認識し合うことが肝要です。

ただ、もう一つの課題が「第二幕」として提起されています。「ポストポリオ」の問題だそうです。ポリオから助かり生存している方が1000万～2000万人いると推定されます。この方たちは、今なお体が不自由になる症候群に直面し、色々な問題が根強く存続しているそうです。今まで全く知りませんでした。医学的な詳述は理解できなくとも、このポストポリオ問題は私達も把握しておく必要があるものと考えます。

感銘を受けた記事

「苦楽吉祥の人」 向笠廣次元RI会長について語る ヨコ組P18～21

1982年RI会長になられた向笠元会長について、同じ中津RCで当時から活動された方の人物録です。知られざる裏話があちこちに出てまいります。

元会長は関節リウマチを患い、炎症反応が強く痛みをこらえつつの会長務めであったと、初めて知りました。エバンストンに住み、10ヶ月で交通の便に悪い地域を主に選び、44か国15万kmを公式訪問したと載っています。

驚いたのは、会長を終えて帰られた時「帰国したけど寝たきり」というほど、体を酷使して活動されたことでした。筆者は、「ロータリーにすべてをささげ、ロータリーのために討死、殉職した感じがした。それくらいロータリークラブに大きなエネルギーをささげた人」と感想を述べておられます。

「情報発信」された方々

「タテ組」

表紙（表紙のメッセージP29）

「ナンジャモンジャ花盛り」 堺東RC 江口祇董

俳壇 P13

「年賀状二枚となりぬ戦友会」 御坊RC 野村浚一

ロータリーアットワーク P20

「税関見学会」 堺フラワーRC・泉州 KUMATORI-REC・大阪千代田RC(3クラブ合同)

「笑顔で楽しくが一番! RAC料理講習会」 堺RAC

「子どもミュージアム開催」 有田HRC

「インターアクター 台湾国際理解の旅」 第2640地区

「子ども囲碁フェスタを盛大に開催」 堺北RC

「天空マラソン大会で給水ボランティア」 新宮RC